

令和5年度 第5回 FMはまなす番組審議会 議事録

1. 開催年月日 令和6年1月30日(火)
2. 開催場所 岩見沢市有明町南1番20
岩見沢市コミュニティプラザ2F 会議室A
3. 出席者 審議委員総数 8名
出席委員数 6名

出席委員の氏名
 - ・岡 嘉彦
 - ・永沼 興子
 - ・仁志 正樹
 - ・木村 聡
 - ・畑 孝子
 - ・後藤 さゆり
局側出席者
 - ・阿部 啓吉(代表取締役)
 - ・松井 宙夢(スタッフ)
4. 議題 「局制作番組」「市民制作番組」についての審議
5. 議事の概要(放送日1/11~1/22)
 - (1) 局制作番組について
「岩見沢元気計画」
 - (2) 市民制作番組について
「ステージの合間に」

6. 審議内容

(1) 「局制作番組」について

「岩見沢元気計画」

岩見沢をもっと元気にするべく、毎週様々なゲストと共に岩見沢の情報をお届けする番組。

① 事前意見回答報告

永沼委員

1月16日（火）放送について

「元気な声で話す。司会の方と足立さんのドカ雪祭りについての話が分かりやすく、是非行きたいな！となる内容でした。」

仁志委員

1月11日（木）の放送について

「今回はゲストに岩見沢市観光協会の足立さんの出演で、今年2月開催の「ドカ雪祭り」関連の楽しい話題多岐に渡る番組でした。ここで、番組の進行の話題の曖昧さが気になりました。番組内で情報提供する立場としては、番組進行としては、事前に情報伝達番組の内容として「話題の確定項目」の聞きたい項目を知らせた中で進めているとは思いますが気になりました。若い出演者とスタッフに成功体験を積み重ねる楽しい番組にして欲しいし、番組タイトルの「岩見沢元気計画」の役割なのは！！次回も楽しみです。」

木村委員

1月11日（木）の放送について

「メインゲストは観光協会の若い職員、今年のドカ雪まつりについて話が展開する。まだ企画内容の詳細が決まっていない部分もあったが、コロナの扱いが変わった後のドカ雪まつりに興味がそそられた。2月17、18日が本番の詳しい内容を今後の放送で紹介してほしいと

思います。」

畑委員

1月16日（火）の放送について

「前半は聞き逃しました。その後の雪まつり（札幌）の思い出の話から聞くことが出来ました。ゲストさんの母親が迷子になった話を聞いて我が子も迷子になったなあと思いました。後半の写真コンテストの件、多くの応募があると良いですね。」

加藤委員

1月11日（木）の放送について

「MCの女性の話し方や声は聴きやすく、好感が持てました。質問内容や流れもとても良かったと思いました。その一方で今回のドカ雪祭りのPRの番組としては担当の方がほぼ初めての方でしたので、しかたないのですが質問に答えることができずに、PRしたいところが伝わらない所が多かった様に感じました。柿本実行委員長等、祭り内容を把握している方がPRゲストの方が良かったのではないかと感じてしまいました。」

後藤委員

「ドカ雪祭りの案内があり、スポーツセンターやグリーンランドでも開催されていた事は知りませんでした。ゲストの観光協会の方は初めて担当されるということで、分からないことが多い中でも自らが準備に携わり、大変なことや楽しみしていることが伝わりました。」

② 審議

岡委員長

「では、審議を始めます。」

永沼委員

「ドカ雪祭りを見に行ったことがあるので、うなずきながら聞いていました。」

仁志委員

「番組を進める方が慣れていない方への気配りがあれば良かったと思いました。中途半端な情報しか出せなかったのが残念でした。打ち合わせをして貰えたら良かった。」

畑委員

「対応の仕方がざっくりばらんで友達言葉が気になりました。」

永沼委員

「私はあれくらいでも良いと思いました。」

仁志委員

「番組の最後に友達のようにせず、きちんと名前を紹介して締めると良かった。」

後藤委員

「何をしている人か誰なのか分からなかった。最初にきちんと紹介してほしい。」

畑委員

「始めと終わりに紹介して欲しかったです。」

岡委員長

「親しく話すのも良いが堅苦しいならない程度に、けじめがあると良いと思います。では、次に進みます。」

(2) 「市民制作番組」について

「ステージの合間に」

岩見沢の文化情報等をお送りしている番組。文化活動を行っている方をゲストに迎える等、市民に広く文化情報を知って頂くことを趣旨として放送を行っている。

① 事前意見回答報告

仁志委員

1月20日（土）の放送について

「番組の精力的な進行に引き込まれました。岩見沢図書館の膨大な本の修復を地道にされている一人として「舟木さんのお話し」でした。ボランティアで図書館の蔵書に関しての修復作業を長年されてのコメントが最高に素敵でした。「手順・応用・判断力がこの本に優しいか自問している」の言葉に感激しました。また、貸し出しを受けた本に、ライン引き、色を付けたり、破いたり、書き込み等が見受けられるなど、現状を聴いて驚きながら極少数の方が、共に市民の財産として扱う心を広げたいですね。今後も聞きたい番組です。」

畑委員

1月20日（土）の放送について

「ゲストの舟木さんとは岩見沢図書館フェスティバルにてメニューの1つ、ブックコートのコナーでスタッフとして参加しています。本の修復作業のボランティア等、とても熱心に活動されている方なので今回このよう様に取り上げて下さり良かったなと思いました。聞き取りやすく分かりやすい話し方でしたし、知っている方なので聞きいってしまいました。」

加藤委員

1月20日（土）の放送について

「図書館での本の修復ボランティアについて、興味深く聴きました。約1時間みっちり本物の修復ボランティアについて話してくれ大変勉強になりました。曲についてももう少し増やしてもいいと思います。約1時間ほど話だけだと、聴いていてだんだんと集中が切れて話が入って来なくなる感じを受けました。10分に1回くらいのペースで曲をかけてもいいのではないかと思います。」

後藤委員

1月20日（土）の放送について

「岩見沢図書館でボランティアをされている方がゲストでした。たまに利用しますので修復などボランティアの方々の地道な働きがあって、本が維持されているのがわかりました。このような事を一人でも多く市民に伝えることは大切だと感じました。」

② 審議

畑委員

「パーソナリティーの名前を言ってなかったので、最初に言って欲しかった。長き放送している番組ですよ。」

スタッフ松井

「はい、20年位放送しています。」

畑委員

「ステージに関する事が出てくるのかなと思いました。」

木村委員

「当初は演劇鑑賞会に入っていた方なので演劇中心でしたが、途中から文化的な事も取り上げるようになったと思います。構成を考える時に曲の入れ処を考えると、話していると分からなくなってくるので、パーソナリティーも考えた方が良いと思います。」

スタッフ松井

「番組のメリハリを付ける時に、曲をかけると効果的ですよね。」

畑委員

「パーソナリティーの名前を途中で紹介した方が良いと思う。トークで終わる番組が多くなっているのですか？」

スタッフ松井

「そうかもしれません。」

木村委員

「基本的な情報を途中で入れていかないと、途中から聞くと分からなくなりますよね。」

仁志委員

「曲を流している時に打ち合わせが出来るので、曲は必要だと思います。」

岡委員長

「このように番組で様々な方が紹介されるのは良いと思います。他に意見はありませんか。」

木村委員

「能登震災があって FM はまなすの防災体制がどうなっているのか聞きたいです。」

岡委員長

「冬場の対応も含めて防災関係の放送をして貰いたいです。他に無ければ終了します。」

7. 審議機関の答申処置及び年月日

なし

8. 前回の審議会の指摘事項について改善した事項

(1) 局制作番組

「イベント情報」

引き続き良い番組作りを指導した。

(2) 市民制作番組

「ホープサインの終わらない歌」

引き続き良い番組作りを行うようお願いした。

9. 審議機関の答申または意見の概要を公表した場合における公表内容、方法及び年月日。

公表方法	自社放送、ホームページ、局内設置議事録
公表内容	委員の主な意見
公表年月日	令和6年2月15日

10. その他参考事項

特にありませんでした。